

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

【本校の概要】

本校は、北十勝にある2クラスの小さな学校です。上士幌町は熱気球で有名な町であり、本校は全国でも珍しい熱気球部があります。恵まれた自然環境の中、多くの活動を通して地域を大切にしようとする心を育てています。

【28年度の主な活動内容】

【地域社会の活性化】

①学校設定科目「上士幌学」の実施

今年度より3年生の選択授業において「上士幌学」を設置し、郷土の自然や歴史、食や観光について総合的に学ばせています。この科目は教科横断的なカリキュラムを組み、理科・社会・家庭科・商業の先生達が連携して授業を行っています。先生達による授業のほか、町内にいる外部講師による講話や現地視察、地域の食材を活かした特産品開発など、体験的な学習も多く行っています。



②北海道バルーンフェスティバルへ参加、協力（8月実施）

北海道バルーンフェスティバルは8月に行われる上士幌を代表するイベントです。熱気球部員達は競技への参加を通して、熱気球の魅力や地域の活性化について学びます。また、大会運営のボランティアとして他の部活動の部員達も協力しています。上士幌町や上士幌高校にとって、気球をいかに持続発展させていくかということは大きな課題であり、そういった観点からもまさにESDの取り組みだと言えます。



③「異世代交流会」の取り組み（9月実施）

上士幌町老人クラブと家庭部・熱気球部・吹奏楽部との交流事業です。老人クラブの方々に高校に来ていただき熱気球の体験搭乗や小物づくり、レクリエーションや演奏会などを通して異世代間の交流を行います。このような取り組みを通してコミュニケーション能力などを身につけます。



【学校間交流】

①留辺薬高校とのユネスコスクール間交流の実施

今年の8月に留辺薬高校の生徒会みなさんが本校に来てくれました。お互いのE S D活動内容の報告やE S Dについての講義、そして本校の熱気球にも搭乗してもらうなど、お互いにとって本当に有意義な時間となりました。

また3月には、本校の新執行部が留辺薬高校に行き、E S Dについての学習を行うなど、さらに交流を深めることができました。



【平和教育】

①教科横断型「平和学習」の実施（2学年）

本校の見学旅行のテーマは「平和と文化を学ぶ」です。平和学習は教科横断型の事前学習を行っています。国語科では広島や長崎を題材にした小説読解、地歴公民科では戦争が起こった背景や実際の様子などを学びます。こういった学習を行った上で現地を訪れることで、生徒達は戦争の悲惨さ、そして二度と戦争を起こしてはならないことを強く実感します。



【人権教育】

①総合的な学習の時間における「カタリバ」の実施

本校では、悩みを抱えながらも前向きに学校生活を送っている大学生達と膝を交えて語り合う「カタリバ」を実施しています。この取り組みがきっかけで、将来自分は何をすべきかについて真剣に考えるようになった生徒も多くなります。



【環境教育】

①空き缶クリーン作戦への参加(5月実施)

環境教育の一環として、町のボランティア事業である取り組みに、家庭部と熱気球部が中心となって参加しています。生徒達は主に学校周辺に落ちている弁当の空き箱やペットボトル、空き缶などを拾い、ゴミの分別作業も行いました。ポイ捨ての多さについて考えさせられる貴重な機会となっています。



【今後に向けて】

今年度から「上土幌学」を実施したことにより、ようやく本校におけるE S D活動の軸が見えてきました。今後も「地域に根ざしたE S D活動の充実」をテーマに、より多くの生徒にふるさとの魅力を学び、それを幅広く伝えていけるような取り組みを実施していきたいと考えています。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）